



こんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。1期目の任期も2年目を迎えました。Vol.5では、5月27日から6月21日まで開催していた平成28年第2回定例会のご報告をさせていただきます。また、選挙権年齢の引き下げ後、初の国政選挙となった参議院選挙通常選挙は、投票率54.7%と戦後4番目に低い投票率となりました。主権者教育の推進、投票環境の充実等を取り組んでいく必要がある市政の課題だと再認識致しました。市政においても皆様の関心が高まるよう積極的な情報発信に努めてまいります。

## 定例会での一般質問 2項目

### 1 区役所アクセス問題改善について

Q 昨年6月に行われた第3回定例会において、現在の宮前区役所へのアクセスは、地域によって大きな格差があることを指摘させていただき、区役所行きのバス路線拡充の必要性について訴えました。それに対して、交通局長からは既存バス路線の見直しなどにより検討をしていきたいという答弁をいただきました。1年が経過し現在の取り組み状況、今後の予定について改めて伺いました。

### 2 特養待機者問題について

Q 平成26年3月に厚労省は、全国で特別養護老人ホーム（特養）に入所できない高齢者が52万人を超えると発表し、待機児童問題と同様、もう一つの「待機」として大きく注目されました。この特養待機者数は、川崎市では本年4月で4,822人いると発表されています。市整備計画では、居宅サービスの拡充などを考慮に入れながら、今後さらに定員枠を増やす為、一定の特養整備を推進する予定となっています。この整備

A 「現在、登戸駅から五所塚、平、初山地区を通り菅生車庫までいく路線を区役所まで延伸し、利便性を図ることを検討しているところでございます。他の路線に与える影響等の課題を検討し、2017年度の運行開始を目指す」と答弁を得ました。（※一部抜粋要約）

一步前進ではありますが、区内にはまだ交通不便地域はあります。今後も交通環境の充実に向けた働きかけを進めていきます。

計画にある数字のもとになっているのは、特養入居希望調査で在宅や病院等における要介護3以上の中重度の方で、「今すぐ入居したい」と回答した入居申込者数（平成26年度3,925名）です。待機者の状態の内訳を市に尋ねたところ、「申込者それぞれの状態については把握していない」という答弁があった為、医療的なケアや処置の必要性、虐待の有無など、待機者数の実態調査が出来ていない現状では、待機者それぞれの状態に合った適切な対応はできないと考え、実態調査と詳細な分析の必要性があるのではないかと質問しました。

【実績・計画】（開所ベース）

（単位：床 上段：累計 下段：新規開設）

平成	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	32年度	37年度
大規模特別養護老人ホーム（定員）	3,599 (584)	3,834 (235)	3,934 (100)	4,158 (224)	4,438 (280)		
小規模特別養護老人ホーム（定員）	216 (29)	274 (58)	274 (0)	274 (0)	274 (0)	5,212	5,712
累計（定員）	3,815	4,108	4,208	4,432	4,712		

平成25年度は実績値、平成26年度は見込みまたは計画値です。

出典：第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画「かわさきいきいき長寿プラン」

A 「入居申込者の様々な状況につきましては、状態像を正確に把握する手法の検討を行い、各施設の協力をいただきながら、実態を調査し、真に入居を必要とする方の把握

に努め、「市特別養護老人ホーム入退去指針」等に反映してまいりたいと考えております」と答弁を得ました。（※一部抜粋要約）

日々、どういった活動をしているの？？

矢沢たかおの

日々の活動

2016  
5月 ▶ 7月

議会以外は何をしているの？？  
活動の一部を  
写真で紹介します



## 川崎 主な議会 スケジュール

- 第2回定例会  
(5/27~)

- 5月
- 各種委員会
  - 行政視察

- 第2回定例会  
(~6/21)

- 6月
- 各種団体ヒアリング
  - 各種委員会

- 各種委員会

- 7月
- 農業委員会
  - 第24回参議院議員通常選挙

- 委員会視察

- 8月
- 農業委員会

## かわさき市議会を見よう！ インターネット議会中継

生中継のかわさき市議会を見る事が出来ます。更にライブブリードより過去の中継もみることができます。

川崎市議会 検索



川崎記念病院様の  
ご協力もありバス停名称変更



弘前市視察  
(商業施設一体型公共サービス施策)



仙台市視察  
(子育て施策を中心に)



大分・熊本被災地視察



農園フェス@小泉農園



八ヶ岳少年自然の家視察  
(トコジラミ、バーベキュー場事故後の対応)



第2回定例会に向けた準備



都市農業活性化フォーラム



陳情対応（副市長交え）

## 4月29日に活動報告会を実施致しました

熊本大震災における川崎市行政・議会の対応に始まり、市議会の概要、1年間の議会質問、数字で見る矢沢たかおの1年間、今後の取り組み等について話をさせていただきました。お忙しい中ご参加いただいた皆様、お手伝い下さった皆様、本当にありがとうございました。次回活動報告会開催は、12月を予定しています。

詳細が決まり次第、ホームページでご案内させていただきます。





LIBERAL&amp;DEMOCRATIC

自由民主党ホームページ <http://www.jimin.jp/>

# 川崎市議団 NEWS

●発行責任者／自民党川崎市議団 団長 松原 しげふみ

平成 28 年 5 月 27 日(金)～6 月 21 日(火)の期間にて第 2 回川崎市議会定例会が開催されました。今回の定例会においては議案第 92 号から 109 号、報告第 2 号から 16 号の議案審査が行われました。

## 消費税率の引き上げ延期の影響について

市長は、今定例議会において 消費税率引上げの延期で、社会保障の充実、安定化に向けた財源の確保が見通せなくなったと答弁しました。影響額については、法人市民税の国税化が行われなければと仮定して、約 30 億円の減収との試算を発表しました。

市長は、一方で、市長が一から作成した川崎市のマスタープランである総合計画の見直しはしないとの見解を示し、それに伴って作られる実行計画については、適切に反映し、実効性を確保していくと答えています。消費税分の 30 億円が入ってこない中で、社会保障の充実に向けては、その実効性を確保していくということは矛盾しています。

本来なら、国の施策変更の影響を受け、市の施策も素直に変更することも出来ます。その様な答弁はありませんでした。今後、当初見込んでいた、30 億円のやりくりは、市長が掲げるスローガンである、「スクラップ、スクラップ、アンド ビルト」による行政改革の手腕によります。自民党市議団では、今後の状況を市民に適宜報告しながら、市政に声を届けて参ります。



## 都市農業の振興を応援

昨年、国は都市農業基本法を制定しました。今まで、都市部における農地は、積極的に宅地化すべきものと捉えられていましたが、基本法の制定により、都市部の貴重な緑や産業という、多面的機能を有する「あるべきもの」として位置付けられました。このことから今日、都市農業施策は大きな転換期を迎えました。本市内には JA セレサ川崎が運営する大型農産物直売所「セレサモス」が麻生区・宮前区において開設されています。地場産で安心な農産物を求める市民からも好評をいただいている、農家の皆様の営農意欲の向上にも繋がっております。このように市民の期待度やニーズも高い都市農業であります。一方で深刻な課題もあります。一例を挙げると、後継者や担い手の確保、相続による農地の減少などです。国では基本法に基づき、「都市農業振興基本計画」を閣議決定しました。本市においても基本法に基づく、農業振興計画が策定されていますが、国の基本計画に示された施策をしっかりと推進していくことが重要であります。同時に、生産緑地の指定面積要件の緩和や市街化区域内農地の税制措置の見直しなどの検討を行政側に求めてまいります。また、農業所得向、上に



向けて、6 次産業化による農産物の付加価値を上げていくための取組についても積極的に行ってまいります。さらに、認定農業者を目指す方々への支援についても推進してまいります。また、食農教育や子供たちの農業体験の充実にも努めてまいります。自由民主党川崎市議団は今後とも、都市農業の振興を図るべく各施策の推進に積極的に取り組み、市民、農業者双方のニーズに応えるべく活動してまいります。

## 等々力大橋の整備で市内交通網を強化

都心と川崎市を結ぶ新たな多摩川横断道路「等々力大橋」の建設着工が平成 29 年度と迫っています。都内の目黒通りと本市の都市計画道路、宮内・新横浜線をつなぐ連絡橋となります。建設期間はおおむね 5 年間を予定しており、橋脚などの工事については、河川管理者である国土交通省と協議中であります。水量の少ない時期での施工となることや、川の流れを阻害させない必要もあることから長期間を要することになりますが、出来る限り早期の完成を目指してまいります。

これにより、市街地における交通量の増加などに対応し交通の円滑化を図ってまいります。

総合的な交通対策は、川崎市ののみを捉えて考えるのではなく、首都圏全体を俯瞰した形での対応が必要となってきます。自民党川崎市議団といいましても、国や地元経済界の方々と連携し取り組んでまいります。

また、接続する都市計画道路、宮内・新横浜線は本市道路整備プログラムにおいても重要整備路線と位置付けられていますので、地元との連携を図り交通の利便性をさらに高めるべく取り組んでまいります。



左岸側(東京側)河川敷から等々力大橋(仮称)を望む



左岸側(東京側)河川敷から等々力大橋(仮称)を望む



● 昭和 60 年 8 月 28 日、川崎市宮前区初山に生まれる (30 歳) ● 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業・法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部コンピュータ科学科 卒業 ● 平成 20 年 4 月 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 入社・平成 26 年 7 月 政治活動に専念するため同社を退社・自由民主党公認 宮前区市政政策委員・平成 27 年 4 月 川崎市議会選挙(宮前区) 初当選・平成 28 年 4 月 文教委員会・農業委員会 ● 剣道 四段、空手 二段、書道・毛筆三段 硬筆二段

## しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください！

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山 1-20-12

電話 044 - 976 - 2727

FAX 044 - 976 - 8686

mail ※メールアドレスを変更致しました  
(新) mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索

<http://www.yazawa-t.jp/>[twitter](#) [facebook](#)